

わくわく通信

令和6年3月発行

【発行者】

特定非営利活動法人 わくわくネットいわき

〒970-8028

福島県いわき市平上神谷字神谷分 22-1

TEL 0246-57-0255

FAX 0246-57-0256

「一年間お世話になりました」

理事長 新妻 寿雄

令和5年度の終わりを迎えるにあたって一言ご挨拶を申し上げます。

まず、初めに1月1日に発生しました能登半島地震におきまして被災されました皆様に心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

さて私は、4年前に大病を患い、右半身麻痺になってからできないことがふえました。しかしながら、日々のリハビリの中で再びできるようになったこともあります。先日は、昨年できなかった7ℓ入りの除草剤入り噴霧器を背負って除草作業ができました。とても嬉しかったです。わくわくネットいわきをご利用されている皆さん方も、できないことができたときは、私と一緒になのではないかと思いました。

最近、職員から利用児さんのケース会議の内容報告を受けました。行事の参加の仕方の会議でした。ある参加者の方が「この子はやればできるのに・・・」とおっしゃられたそうです。他の方からも「やればできることをしなくていいとは言えない、甘えさせてはいけない」「もっと意欲的に参加したほうが良い」などの意見があったそうです。ご本人自身が、何の目的で行事に参加するのか、その行事に参加したいのか、参加したくないのか、ちょっと難しくても挑戦したいのか。今は、挑戦できないのか等色々なことがあると考えられます。様々な仮説を立てて私たちが支援しながら、自分の参加の仕方について、ご本人が自己選択・自己決定ができることを支援してほしいなと思いました。それは、自分ができなかったことができる経験は嬉しいことだと、私自身の経験からも思ったからです。

わくわくネットいわきは、この時の考え方として「やれる」と「できる」の違いを明確にしながら、ご本人様たちが将来に向けて進んでいけるお手伝いをしていきたいと考えております。

最後になりますが、令和5年度も多くのご支援ご協力をいただいたことをここに御礼申し上げます。これからもよろしくお願いいたします。

我が家の逸品 チャレンジドの1年間の行事を紹介します。

令和5年4月 おやつ作り「フルーツたっぷりカステラパフェ」

5月 かみね動物園

6月 おやつ作り「かき氷パフェ」



7月 セタ会

8月 おやつ作り「アイスのせパンケーキ」

9月 フラワーセンター

10月 おやつ作り「デコレーションマフィン」

11月 アクアマリン

12月 クリスマス会

令和6年1月 おやつ作り「ハンバーガー」

2月 節分会(豆まき)



3月 ひなまつり



※写真については同意を得ました

いつもお世話になっております。生活介護事業所チャレンジドです。皆様には、日頃から空き缶、ペットボトル、段ボールの収集にご協力頂き誠にありがとうございます。皆様のご協力のもとチャレンジドのご利用者様も社会貢献に繋がる作業に取り組むことができます。地域社会との関わりがもてることに深く感謝申し上げます。



卒業によせて★保護者様より

息子が3年9ヵ月もお世話になったゆいまーる。いよいよ卒所を迎えます。

言葉が出ない、落ち着きがない・・・床や壁に頭を打ち付ける自傷行為が見られた時期もあり、なんでそんな事をするんだろうと思い悩んで母親である私も毎日のように泣いていました。そんなある日、保健師さんに「発達がゆっくりなお子さんとその保護者さん向けの集まりに参加してみませんか？」とお声がけ頂き、先ずは外に出てみようかと参加してみた場に出会ったのが新妻先生です。これをきっかけにどんどん話が進み、数か月後にはゆいまーるでの療育が始まりました。閉塞感で苦しかった心に風穴が開いたような・・・心がずっと軽くなったのを今も覚えています。

子どもの特性を理解し適切な環境下で支援していただくことで、親なのに知らなかった子どもの一面を見る事ができる、理解できなかった息子の世界と自分の世界が繋がっていくような感覚です。定期開催される保護者学習会やペアレントプログラム、わくわくウォークラリーにも参加しましたが、これは子どもの事だけでなく親の意識を変える、自分自身の事を考える良い時間になりました。また、年に2回程度は子どもが療育中のモニタリングもしていました。ゆいまーる管理者の渡邊しのぶ先生にお付き合い頂き、息子の療育の様子を観察しながら、自宅でこんな事やったけど上手くいかないとか、こんな事があって・・・と、息子のことをよくみていて下さる先生にだからこそ相談できる時間を、少し図々しいけどこちらから作って（笑）お話を聞いて頂くのです。そして少しスッキリした気持ちでまた子どもと日常を過ごす。背中を押してくれる大切な時間でした。

療育では、息子の好きな乗り物や道路標識などを活用した課題やご褒美を考えてくださったり、他児さんとの関わり方や順番を待つなどのソーシャルスキルも、先生方に介入してもらいながら少しずつ獲得してきました。丁寧に関わって下さる先生方を、息子も信頼し安心して過ごせる時間だったように思います。私も、声を出さないと福祉はやってこない、人に頼ることも大切なのだと学びました。金曜日の利用後、私が「一週間お疲れさま！」と息子を労うと「ママも一週間お疲れさま！」と私のことも労わってくれました。こんな日が来るとは。ゆいまーるやこども園での活動を通して優しい心も育ったように感じます。

ここ数年のコロナ禍において事業所の皆様もたくさんの苦労があったと思いますが、どんな時でも子どもと保護者に寄り添いお働き下さる先生方に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました！

ゆいまーる・ふくしま 保護者 八巻 絵理子 様



セカンドハウスわくわくさんでは 8 年間お世話になりました。息子に携わってくれた先生方、お友達、保護者の皆様に感謝申し上げます。

この 8 年間楽しい事もたくさんありましたが、息子も私も辛い時や苦しい時もたくさんありました。楽しい事もあったと今振り返る事ができるのは、息子にも私達家族にも寄り添い支えてくださった先生方のおかげです。ありがとうございました。

次はほっぴさんへ！！ドキドキもありますが、また先生方と一緒に頑張っていけたら幸いです。8 年間ありがとうございました。これからも宜しくお願い致します。

セカンドハウスわくわく 渡邊 恵理子様（泰輔さんお母様）



早春の時期を迎え、高等部を卒業し、いよいよ社会への一步を踏み出します。

よく、あっという間でしたと耳にしますが、正にその通りでした。十五年間、わくわく様には大変お世話になりました。療育過程での様々な体験と、刺激、柔らかな心遣いや信頼は、娘だけではなく、取り巻く家族も共に成長を感じ取ることが出来ました。

最初は、分刻みの忙しさに追われ、社会からは、愛情が足りない、躰がなっていないと言われ、どうしようもない孤独感に包まれた時期もありました。幼稚園では通園を断られ、小学一年では登校拒否になり自傷がひどくなりました。その都度、助けてくださったのはわくわくさんでした。療育を再度やり直す為に時間を割いて頂き、改めて一番困っているのは娘だということ。行動は全て段階を踏んで成り立っていること。分かりやすく提示すること。沢山のアドバイスを頂き、絵カードやスケジュールを貼り付ける日々でした。実カプラスワン。一つ先だけを目標にゆっくり進むことにしました。

自傷や手繋ぎの要求が強く、必ず誰かの付き添いが必要で、泣き腫らして困った目で見つめてきたあの頃は、本当に苦しかったです。時は経ち、今では、自傷も少なくなり、自らその衝動から守る行動をするまでになりました。手を差し伸べ、寄り添い、見守って頂いた皆様に、本当に感謝の想いでいっぱいです。

娘は、とても歌が大好きです。いつも熱唱しているのは自分がいる場所、そして皆さんが大好きだから、解放しているのでしょう。

わくわくさんでの思い出は、たくさんあり過ぎて、溢れ出してしまいます。十五年間、これまで、心温かい支援をありがとうございました。

セカンドハウスほっぴ

田久 恵美子様(歌音さんのお母様)



わくわくキッズ卒業にあたり

今年度わくわくキッズをご卒業される児童の皆さん・ご家族の皆さん、ご卒業おめでとうございます。わくわくキッズと出会ったのは、当時2歳の息子の自閉傾向が分かり、今後どう育てていけば良いのか...と、途方に暮れる日々の中でした。何ヶ所か療育施設を見学し、初めて新妻先生と面談をした時は、自分でも驚くほど泣いたのを今でも覚えています。わくわくの先生方は、息子の素敵なところをたくさん引き出してくれました。『○○なところが素敵です・すごいです』と小さなことでも出来たところを教えてくれ、連絡帳を見るのが楽しみな3年間でした。集団生活が苦手な息子は『ぼく、ワクワクさん好きなんだ』といつも登所を楽しみにしていました。苦手なことに目を向けるばかりでなく、良いところ・可愛いところを積極的に見られるようになったのはわくわくの先生方の影響です。いつも寄り添ってくれてありがとうございました。

特性のある子供を育てていると、楽しいことばかりではない、胸が張り裂けるような思いをすることもあります。それでも、この子を育てることが出来て幸せだなと今なら胸を張って言えます。

これからも私たちのような親子の心の拠り所で居続けて欲しいな、と願っています。本当にありがとうございました。

わくわくキッズ 木下 悠貴様 (湊さんのお母様)



職員紹介



たんば ひろみ
丹羽 祐美

チャレンジド



さいとう みほ
齊藤 美穂

本部 事務

10月よりチャレンジドに勤務しております。丹羽祐美と申します。

初めての職種なので、支援の難しさを感じていますが職員の方々に指導して頂きながら日々仕事に励んでいます。毎日の関わりの中で利用者様の特性を理解し安心した生活が出来る様支援に努めていきたいと思えます。よろしくお願い致します。

令和6年1月4日より事務職で入職しました。障がい者の支援施設は初めてで、わからない事だらけですが、一つずつ覚えていきたいと思っております。事務という立場から、少しでも皆さんのサポートになるように頑張りますので、よろしくお願い致します。



今本先生コンサルテーション

12月1日(金)、2日(土)の2日間でいらしていただき、1日目は法人内の事業所のコンサルテーションを受け、2日目は地域にも向けた講演会をしていただきました。

今回、セカンドハウスわくわくの事例を挙げさせていただきました。実際の支援現場やご本人の様子(動画)等を見ながら、保護者様や関係機関の皆様と一緒に状況の共有、今後の対応についてアドバイスを受けることができました。

まずは、ご本人が現在どのような状況なのかを把握する事、カード(手立て)に合わせるのではなく、ご本人がどう生活したいのかを考える事が必要であると改めて学ぶことが出来ました。今後の支援に生かしていきたいと思います。

セカンドハウスわくわく

今本先生のコンサルテーションでは、強度行動障がい児の支援についてご指導を頂きました。一人ひとりの障がい特性に合わせて環境設定を行っていることにお褒めの言葉を頂きましたが、支援の中には行動を求めすぎていることがあると、ご指摘を頂きました。「このように要求してほしい」「こんな風に遊んでほしい」など、利用者様からの発信よりも、支援者側からの発信の方が多いとのことでした。利用者様と支援者もわかりやすい方法としてチョイスボードや手伝ってくださいのカード等を導入致しましたが、結果として「求めすぎ」となってしまいました。また、利用者様からの発信する機会やツール(PECS)がもっとあると良いとのアドバイスを頂きました。今回、このことに気付けたことはとても良い学びとなりました。今後も専門的な知識を高めつつ、今後の支援に活かしていきたいです。

セカンドハウス ほっぴ



令和5年度 発達障がい啓発講演会

令和5年12月2日（土）、「子どもの行動への基本的な対応法」と題し、今本繁先生にご講演頂きました。コロナウイルスが5類となり、4年ぶりの開催となりましたが、たくさんの方にお集まり頂きました。刺激の影響や急な変更等様々な理由から行動問題が起きていること、そのため環境の調整や見通しを伝えることが大切だということを再認識しました。今後も地域の皆様と一緒に学ぶ場として、講演会の開催を行っていきたいと思います。

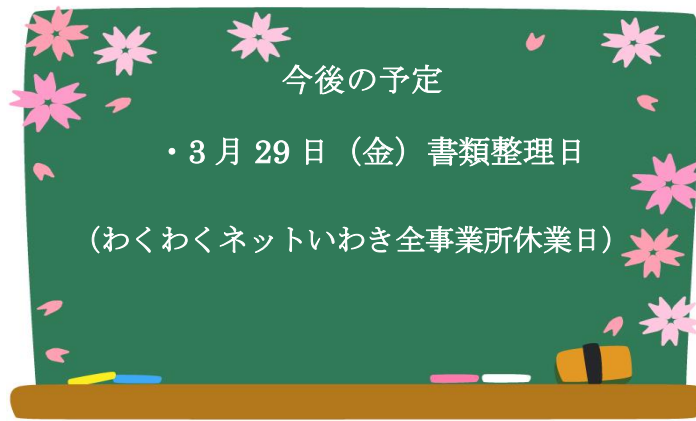


今本繁先生



講演会の様子





📢お知らせ

- *受給者証が新しくなりましたら、できるだけ早く事業所へご提示下さい。
- *日頃から空き缶等のご寄付をいただき、誠にありがとうございます。
- *今後ともアルミ缶、ペットボトル、古いシーツ、タオルケット等の
ご寄付のご協力をお願い致します。
- *事業所をご利用される場合は、持ち物にお名前をご記入して下さるよう
お願い致します。

📝編集後記

初めてのわくわく通信委員会。センスが問われるなぁ…と思いながら過去記事を参考にす
るも、うまくいかず時間が過ぎていく日々でしたが、なんとか完成しました！！
今年度も『わくわく通信』をお読みいただきありがとうございました★
次年度も『わくわく通信』をよろしくお祈りします★

知的障がい児者・自閉症児者の 発達障がい児者の方もご加入いただけるようになりました。

生サポは 家族の安心を支えます

- 日常生活に関する相談支援
- 権利擁護に関する相談支援

- 就労に関する相談支援

の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、
知的障がい児者、自閉症児者のための
病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

AIG損保の普通傷害保険
生活サポート総合補償制度

主な補償内容

病気やケガで入院したとき 入院給付金	病気で死亡したとき 疾病葬費費用保険金 <small>※プランによって補償します</small>	虐待・逮捕・勾留に対応するとき 弁護士費用等補償 <small>※プランによって補償します</small>
ケガをしたとき 死亡・後遺障害・入院・通院・手術／各保険金 <small>(地震・噴火・津波によるケガも対象)</small>	賠償責任を負ったとき 個人賠償責任補償	就労中に他人にケガをさせたり 物を壊してしまったとき 職業従事者事故対応費用補償 <small>※プランによって補償します</small>

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。
特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事者事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら

■ 担当代理店・扱者
株式会社 ジェイアイシー 南東北支店
〒980-0804 仙台市青葉区大町2-3-11
レイтонビル7F
TEL: 0120-294-747(フリーダイヤル) FAX: 022-264-0081
受付時間: 午前9時～午後5時
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■ 引受保険会社
AIG損害保険株式会社
<https://www.aig.co.jp/sonpo>
仙台支店
〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-8-3 富士火災(仙台ビル)3階
TEL: 022-726-7551
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

福島県知的障害児者生活サポート協会
〒960-8141 福島市濠利字七社宮111
福島県総合社会福祉センター
福島県手をつなぐ親の会連合会内
TEL: 024-573-5980 FAX: 024-522-7228

2024年1月現在の内容です。(D-007027 2025-03)